

板橋区の蝶を調査する会報告No.174

5月の定例観察会は、エコポリスセンターが環境観察員を対象にした実施した、「板橋の蝶観察会」（講師等は板橋区の蝶を調査する会の会員で実施）の内容を、板橋区の蝶を調査する会の定例観察会の報告としました。

観察日時：2025年5月18日(日)

観察地域：板橋区立美術館周辺、都立赤塚公園赤塚城址周辺、板橋区立赤塚植物園及び万葉薬用園他

参加者：加地、神山、川口、小林、佐藤、荘司、神、長澤、宮崎、山田、米澤、渡邊（12名）

環境観察員16名、エコポリスセンター職員2名

当日の天気：曇り 24℃

実施概要

1 当日のスケジュール

- ① 午前8時30分 板橋区の蝶を調査する会の会員集合
- ② 午前8時30分受付開始（区立美術館前・トンボ池）－受付事務（エコポリスセンター）
- ③ 午前8時45分 エコポリスセンター挨拶、蝶の会メンバー紹介、班編成・リーダー確認、観察シート記入説明等
- ④ 観察開始
午前9時00分～午前11時10分（観察場所：班別に赤塚城址・赤塚植物園等を観察）
午前11時終了
- ⑤ まとめと挨拶 午前11時10分～午前11時30分
 - ・ 観察データ班ごとの集計・発表
 - ・ 終了挨拶

2 観察コース・時間（午前9時00分～午前11時10分）

赤塚城址⇄赤塚植物園（コース例）

区立美術館周辺⇒溜池公園・郷土資料館脇⇒新規開設公園⇒赤塚城址・バッタ広場及び周辺⇒城址梅林⇒赤塚植物園⇒万葉薬用園・農業園⇒区立美術館横。

3 班編成等

3班編成とし、各班の参加者約6名、蝶の会の指導者4名程度を配置した。蝶はネットで補獲又は静止・飛翔（種の判別が可能であれば）している蝶について種等の確認をし、配布したA4「板橋区内で見られる蝶」の写真で説明し、参加者の理解を深めた。また、食草と幼虫についての話を交えて解説した。なお、補獲し確認し終わった蝶については、順次リリースをした。

観察結果

（当日1～3班で確認した蝶（幼虫を含む）は全部で13種であった。詳細データはエクセルファイルに記載した。なお、近年観察回数が減少しているアカシジミ・ミズイロオナガシジミ等のゼフは観察できませんでした。

確認した蝶の科及び種は以下の通りである。

アゲハチョウ科

- ①アオスジアゲハ
- ②アゲハ（成虫と幼虫）
- ③カラスアゲハ
- ④クロアゲハ

シジミチョウ科

- ①ヤマトシジミ

⑤ジャコウアゲハ（幼虫）

シロチョウ科

- ①モンシロチョウ

タテハチョウ科

- ①アカボシゴマダラ
②キタテハ
③コムスジ
④ツマグロヒョウモン
⑤テングチョウ
⑥ヒメジャノメ

観察概要

実施予定日の17日（土）が雨天となり、18日の実施となりました。曇りがちですが、気温は約24度隣まらずの観察会となりました。

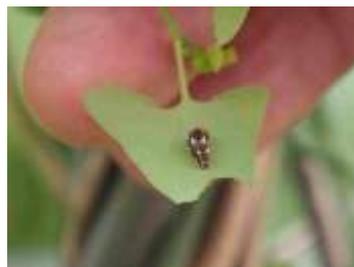
各観察場所で観察した蝶は下の表の通りである。

観察場所	確認した蝶の種類
区立美術館周辺	アオスジアゲハ、アゲハ、カラスアゲハ、クロアゲハ、モンシロチョウ、アカボシゴマダラ、コムスジ、ヒメジャノメ、ヤマトシジミ
バッタ広場周辺	アオスジアゲハ、アゲハ、モンシロチョウ、アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン、ヤマトシジミ
梅林周辺	アオスジアゲハ、アゲハ、モンシロチョウ、ヒメジャノメ、ヤマトシジミ
新規公園	アオスジアゲハ、アゲハ、カラスアゲハ、モンシロチョウ、アカボシゴマダラ、キタテハ、コムスジ、ヒメジャノメ、ヤマトシジミ
赤塚植物園	アオスジアゲハ、アゲハ、カラスアゲハ、モンシロチョウ、ヒメジャノメ、ヤマトシジミ
万葉薬用園	アゲハ、クロアゲハ、ジャコウアゲハ（幼虫）
農業園	アゲハ、モンシロチョウ、ツマグロヒョウモン、ヤマトシジミ
その他	モンシロチョウ、テングチョウ、ヤマトシジミ

2025年5月18日（日）蝶観察写真



アゲハ



ジャコウアゲハ幼虫



カラスアゲハ



モンシロチョウ



アカボシゴマダラ



アカボシゴマダラ白化型



コムスジ



ツマグロヒヨウモン♀



ツマグロヒヨウモン♂



テングチョウ



ヒメジャノメ



ヤマトシジミ